

1 単元名 世界の諸地域（南アメリカ州）

2 単元の目標

- 世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、表れ方が違うことを理解するとともに、南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、その地域的特色を大観し理解する。（知識及び技能）
- 南アメリカ州において、地域で見られる地球的課題の要因や影響を、州という地域の広がりや地域内の結び付きなどに着目して、それらの地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する。（思考力、判断力、表現力等）
- 南アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとする態度を育てる。（学びに向かう力、人間性等）

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①世界各地で顕在化している地球的課題は、それが見られる地域の地域的特色の影響を受けて、表れ方が違うことを理解している。 ②南アメリカ州に暮らす人々の生活を基に、その地域的特色を大観し理解している。	①「ブラジルは、環境保全と経済発展のどちらを優先すべきか。」について、南アメリカ州の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。	①南アメリカ州について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

4 単元の指導について

(1) 教材について

本単元は世界の諸地域の南アメリカ州を扱い、空間的相互依存作用や地域などに関わる視点に着目して、地域で見られる地球的課題の要因や影響を地域的特色と関連付けて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成すること、地域的特色や地球的課題との関係を理解することをねらいとしている。

(2) 生徒の実態について

学習課題に対するまとめを考察する際、地域的特色を踏まえ、自らの言葉を用いて記述できるように指導を行ってきた。しかし、南アメリカ州の学習における実態調査では、課題に対して一面的な考察をする生徒が多く、地域的特色を複数用いた多面的・多角的な考察に課題が見られた。これまでも単元を貫く学習課題を設定し、課題解決的な学習を進めてきたが、社会的事象のつながりを意識した単元計画や、習得した知識を活用して課題を解決するような学習場面の工夫が十分

ではなかった。指導計画の見直しや、学習場面の工夫を通して、多面的・多角的な思考をはじめとした、資質・能力を育てる必要があると考える。

5 単元の指導計画（5時間扱い）

○指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

次	時	学習内容・活動	知	思	態	評価規準・指導上の留意点
1	1	<p>1 南アメリカ州について、知っていることを発表する。</p> <p>2 諸資料を提示し、ブラジルを大観し、地理的な事象をつかむ。</p> <p>3 見出した地理的事象から疑問に思ったことを挙げる。</p> <p>4 単元を貫く学習課題を設定する。 ブラジルは、環境保全と経済発展のどちらを優先すべきか。</p> <p>5 単元を貫く学習課題について、予想を立てる。</p>	○			<p>○ワークシートの記述から南アメリカ州について、地理的事象を理解できていない生徒には、次時からのピア・トレーニングで知識が定着するようにする。 【ピア・トレーニングの正誤表】 ○学習課題について予想を立てられない生徒には、現地の写真を提示し、写真を見ての感想から自分の意見をもてるようにする。 【ワークシート】</p>
2	2	<p>1 諸資料からブラジルで自然と共に生きる人々について、関心を高める。</p> <p>2 学習課題を確認する。 アマゾンの大自然は人々の暮らしに必要なのだろうか。</p> <p>3 本時の課題に対する予想を立てる。</p> <p>4 川と森林がもたらす恵みと、そこに住む人々の工夫について調べる。</p> <p>5 調べたことを発表し、比較し、関連付けながらまとめ、全体で共有する。</p> <p>6 本時のまとめと振り返りを行う。</p>		○		<p>○多面的に考察できない生徒には、視点を提示し、ワークシートに考えを整理できるようにする。 【ワークシート】</p> <p>○イメージマップが広がらない生徒には、学習班での意見の交流により、地理的事象を整理できるようにする。 【ワークシート】 ◎アマゾンに暮らす人々の生活を基に、川や森林と共に生きる南アメリカ州の様子について大観し理解する。 【ワークシート】</p>
	3	<p>1 諸資料からアマゾンの開発の現状について、関心を高める。</p> <p>2 学習課題を確認する。 アマゾンの森林を伐採する必要はあるのだろうか。</p> <p>3 本時の課題に対する予想を立てる。</p>		○		<p>○多面的・多角的に考察できない生徒には、資源等の視点を提示し、ワークシートに考えを整理できるようにする。 【ワークシート】</p>
	4	<p>4 アマゾンの開拓は何のために行われているのか調べる。</p>	○			<p>○イメージマップが広がらない生徒には、学習班での意見の交流により、地理的事</p>

		<p>5 調べたことを発表し、比較し、関連付けながらまとめ、全体で共有する。</p> <p>6 本時のまとめと振り返りを行う。</p>	◎		<p>象を整理できるようにする。【ワークシート】</p> <p>◎アマゾンの開発の現状を基に、大規模な開拓が行われている南アフリカ州の様子について大観し理解する。【ワークシート】</p>
3	4 本時	<p>1 学習課題を確認する。 ブラジルは環境保全と経済発展のどちらを優先すべきか。</p> <p>2 ジグソー学習の形態をとり、4つの立場（アマゾンの先住民、アマゾンを開発する農家、ブラジルの政治家、環境保護の研究者）を設定し、同じテーマを選んだ生徒同士でグループを作り、根拠となる地理的な事象を集め、説明できるようにする。（エキスパートチーム）</p> <p>3 テーマが異なる生徒同士でグループを作り、それぞれの意見を交換する。（学習班）</p> <p>4 グループで話し合った内容を、理由も含めて全体で発表し、共有する。</p> <p>5 ブラジルにとって必要なのは、環境保全か経済発展のどちらかを選び、単元を貫く学習課題に対する自分の答えを記述する。</p> <p>6 本時の振り返りをする。</p>	○		<p>・SDGsの「8働きがいも経済成長を」と「13気候変動に具体的な対策を」の2つを提示し、どちらも地球的課題として、解決すべきものであることを提示し、身近な課題として捉えられるようにする。</p> <p>○根拠となる地理的な事象が見つけられない生徒には、関連する資料を提示する。【観察】</p> <p>・異なる立場の意見を聞くことで、立場による考え方や取り組みの姿勢に違いがあることに気付けるようにする。</p> <p>・多角的な視点をもって自分の考えが記述できるよう、話し合いでの他者の考えにも触れるよう助言する。</p> <p>◎単元を貫く学習課題の解決について、地域的特色を関連付けながら、自分の考えを多面的・多角的に記述している。【ワークシート】</p>
4	5	<p>1 学習課題を確認する。 ブラジルが持続可能な社会を実現するためには、どうしたらよいのだろう。</p> <p>2 ワールドカフェの形態をとり、グループで話し合い、様々な視点をもって解決策について考察する。</p> <p>3 グループのリーダーが班で出た意見をまとめ、全体で共有する。</p> <p>4 ブラジルの環境保全と経済発展を両立させる解決策について、自分の考えを記述する。</p> <p>5 単元全体の振り返りを行う。</p>	◎		<p>◎ブラジルのよりよい社会の実現に向けて、主体的に考察しようとしている。【観察、発表】</p> <p>◎地域的特色と地球的課題を関連付けながら、自分の考えを多面的・多角的に記述している。【ワークシート】</p>